平成26年度第３回2015年３月４日

演題 : スポーツ動機づけ研究を振り返って

演者 : 西田　保（体育科学部）

私の退職にあたり、今回のコロキウムは「最終講義」でもあった。名古屋大学には1979年に着任したので、実に36年も経過したことになる。私の研究は、「スポーツ動機づけ」「科研プロジェクト」「運動イメージ」「ゴルフ」の４つに大きく分類される。本コロキウムでは、主として行ってきたスポーツ動機づけ研究を振り返るとともに、この領域での今後の研究課題について、私的な関心も含めて種々話題提供した。

発表内容は多義にわたるため、ここでは以下にそれらの項目をあげることによって、私に与えられた責務としたい。

１．達成動機に関する研究

①動機づけ研究の開始
②達成動機づけ研究会（関東、関西）
③達成動機が運動パフォーマンスに及ぼす影響
④ TAT による達成動機の測定
⑤スポーツ図版による達成動機の測定

２．体育における学習意欲の研究

①体育における学習意欲検査（AMPET）の標準化
　Achievement Motivation in Physical Education Test
②体育における学習意欲診断検査（DLMPET）の開発
　Diagnosis of Learning Motivation in Physical Education Test
③体育における学習意欲の国別比較
　（Japan, USA, Canada, England）
　「個人主義」と「集団主義」による考察
④期待・感情モデル
　体育における学習意欲の規定要因、パス解析、階層
⑤体育における学習意欲の喚起に関する実践的研究

３．科研プロジェクト

①体育学習を通した生きる力の育成
　－学習意欲、ストレス適応、ライフスキルの視点から－
②スポーツ活動の効果と般化に関する実証的研究と汎用性モデルの構築

４．動機づけと対人関係性

①社会的一体感（sense of social togetherness）
　定義、影響力、尺度作成、信頼性、性差、
　スポーツ活動の差、心理的構成概念との相関

５．スポーツ動機づけ研究の今後の研究課題

①社会的一体感と動機づけ
　関連要因、規定要因、メカニズム、
　質的研究と量的研究の相互補完的アプローチ、
　縦断的研究（因果関係の把握）
②ネガティブ感情と動機づけ
　失敗によって引き起こされるネガティブ感情
　→　高い動機づけ
　負けず嫌いとの関連性
③チームの動機づけ
　定義と研究者間の共通理解、評価尺度の開発
④感謝の気持ちと動機づけ
　サポートしてくれる「友人、家族、周りにいる人」に対する感謝の気持ち
　Motivation “from others”（他者からの動機づけ）